

都島だより

発行責任者

森 芳信

〒270-1164  
千葉県我孫子市つくし野3-13-107  
TEL. 04-7184-8443



(社)浪速工業会  
関東支部会報

2012年(平成24年)6月 第45号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056  
横浜市港南区野庭町696-6  
TEL.045-841-8885  
E-mail nanium@c3-net.ne.jp

題字デザイン A28岡田宏三

NEWS45号

関東支部・現在会員数 ◆ 合計513名

◆M・機械107、ME・機械電気23名◆A・建築92名◆E・電気・電子工学163名◆C・土木・都市工学48名◆CI・工業化学・理数56名◆L・普通11名◆工専13名

平成二十四年度  
関東浪速工業会会長ご挨拶



A37 森 芳信

爽やかな新緑の候、関東支部会員の皆様方には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。平素は当会運営に何かとご協力、ご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。この度1月の総会におきまして関東支部会長の大役を仰せつかる事になりました。微力ではありますが任期中の間、皆様方と共に都島OBの絆をより深められる様努力してまいりたいと考えています。ご指導、ご協力賜ります様よろしくお願い申し上げます。実は私、この会長のお役目は13年振り2度目となります。その間、関東支部の色々なイベントを企画し、また参加しながら痛感してきました事は、参加者数の伸び悩みと言う事です。これは、多分に新卒の方及び若い会員の方の関東地区勤務が減少している事と、会員の高齢化が要因と思われるのですが、今年関東支部のより活性化のためにお願いが御座います。『一声、声掛け運動』という事です。総会始め種々のイベントに同期、先輩、後輩の方々を1人でも多く誘い合わせ参加して頂きたいと言う事です。その事により関東支部の活性化に繋がります。また都工OBの新しい絆も生まれてくるものと信じています。幹事会では、そのための方策の一環としまして来年の総会の開催時期、時間等について検討を始めました。今年の1月の総会は降雪のあとの特に寒い日の夕刻からでした。春暖かくなつた4月の土曜日、昼頃からの開会の方針で検討を



平成23年度 関東浪速工業会総会  
関東浪速工業会 平成23年度総会  
2012.1.20

★平成24年度 行事予定

- 4月 春季ゴルフコンペ
- 6月 Mニュース45号発行
- 7月 見学会
- 10月 陶芸会、桂米左独演会
- 11月 秋季ゴルフコンペ
- 11月 一泊懇親会
- 1月 Mニュース46号発行
- H25年4月 平成24年度総会



仙台から参加のA27清井氏



総会初参加の方々



乾杯発声 C20榎本氏

進めています。これが実現できれば、ご高齢の会員の方また現役世代の方々にもより参加して頂き易くなるのではと考えています。具体策が整い次第ご案内させていただきます。また、総会のみならず見学会・ゴルフコンペ・一泊懇親会・陶芸会等々他のイベントにつきましても皆様に楽しんで参加して頂けます様、鋭意企画しMニュースにてご案内させていただきます。尚、これらに関しまして皆様方のご意見、ご希望等御座いましたら是非事務局または各幹事までお寄せ下さい。会運営の参考にさせていただきます。何卒ご協力よろしくお願い申し上げます。

申し遅れましたが、東日本大震災では会員の方には幸いにも人的被害が無かつた事に安堵致しておりますが、被災されました方々には心よりお見舞い申し上げます。復旧、復興を切に祈念致しております。最後にになりましたが、会員皆様方の今後益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

平成23年度関東浪速工業会  
総会に参加して



CI44 門野 剛

平成24年1月20日(金)午後6時より新宿住友ビル47階で平成23年度関東浪速工業会総会が開催された。私は都工を卒業以来40数年ぶりに初めての参加で、当日までどのようにして良いものかと不安でした。総会は結構多くの参加者で賑わっていました。会の半ば、初参加者の紹介があり、自分の経歴や海外の経験談などを交えて挨拶をしました。また、音楽部で同期のトランプットの亀田君(電気科)を見つけ、当時の話に花が咲きました。工業化学科の方々とグループで歓談することができ、楽しい時間はあっという間に過ぎました。現在、英語関連の自営業をやっていますが、日常の行動範囲に限られてきます。又、機会があれば参加したいと思えます。

世紀のプロジェクト  
「東京スカイツリー」  
建設に携わって

A 48 田淵 成明



スカイツリー現場にて



昭和48年に株式会社大林組に入社し、今年で39年目を迎えます。その間、主に東京本社管轄の工事現場に従事し、180mクラスの超高層ビルも数棟経験しましたが、21現場目で、日本を代表する世紀のプロジェクト「東京スカイツリー」に携わる事が出来ました。

世界では、500mを超えるタワーや超高層ビルの建設は行われていますが、日本では300mを超える建物はなく、日本独特の気候や地震など未知との戦いとなりました。

工事は東京下町のだ真ん中で、足元には鉄道や地下鉄も走っている施工条件の中で、2008年7月に着工しましたが、2010年3月29日にh333mの東京タワーを超え、「日本一の高さ」となった頃から注目度がピークに達し、日本

中から注目される中で工事を進めなければなりませんでした。

42ヶ月の厳しい工期でH634mのタワーを完成させるため、30m/月と超高層ビルの1.5倍近いスピードで鉄骨を組上げる必要があります。ゲイン塔はタワークレーンを使用しないリフトアップ工法で組立、後を追う形でH375mと日本一高くなるRC造の心柱は、スリップ工法で構築するなど、社内保有の技術/工法を駆使し取り組みました。

昨年の3・11にはゲイン塔のリフトアップ作業中に東日本大震災に見舞われましたが、働いていた600人近い作業員に一人の怪我人も出さず、タワー本体にも損傷が無かったことと、余震が続く中で、1週間後にはh634mの上棟を迎える事が出来た事は、世界一のタワーに従事する「誇り！」と「日本の元氣！」を合言葉に、職員・作業員とのより強い絆となりました。都島工業を卒業し、建築屋なら誰でもやってみたい世紀のプロジェクト「東京スカイツリー」に従事出来たことは技術屋冥利に尽き、今までやってきて良かったと思っています。

5月22日の開業後は、

是非スカイツリーに足を運んで頂き、今まで経験したことのない眺望、都心の超高層ビル群や東京湾など関東平野が一望出来ます。お勤めは、冬場の10時頃までか、夜景が楽しめる夕方4時30分頃から・・・と、大阪では見られない富士山のシルエットが楽しめるセット！



600m達成

TOKYO  
SKYTREE



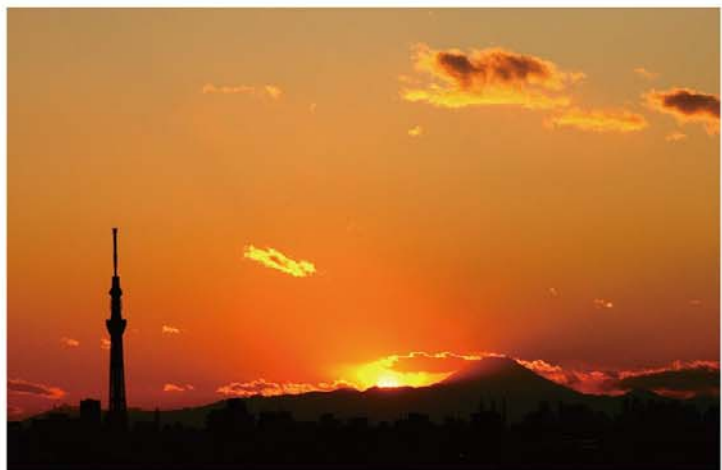
スカイツリーからの夜景



写真提供  
田淵 成明氏

「一番でなくっちゃ！」

E 36 竹村 繁幸



「一番でなくっちゃ！」撮影 竹村 繁幸

この写真は私が在席している千葉県生涯大学校フォトクラブで毎年3月に開催している写真展へ出展したものです。

この写真への思い入れは私も建築業界にいたので、ツリーを工事中から時期をみて撮っていました。ツリー単独では単なる建築写真になるので、世界一の高さと対比出来る富士山を同一画面に狙いました。(撮影地・市川市国府台城址公園)昼間は下町の雑居ビルやマンションが目につくので、シルエットで見せる夕景にしました。(平成24年1月26日の17時頃撮影)タイトルの「一番でなくっちゃ！」は事業仕分けの「2番ではいけないのですか」に抵抗したものです！



関東浪速工業会

総会に参加して

初参加者コメント



A.H5 竹田 大輔



平成5年に都工建築科を卒業、大阪を離れ東京で生活を始めて10年が経ちました。10年経てば環境は大きく変わるもの、ある時ソーシャルネットワークサービスであるフェイスブックを経由して多数の先輩後輩と出会う機会がありました。大半の方は関西地方在住でしたが、経験豊富な先輩には東京や地方へ赴任した経験をお持ちの方もおられ、大変参考にさせて頂きました。そのフェイスブックで交流を行っていた際、関東浪速工業会の存在をお教え頂き、今回総会へ初めて参加することに！

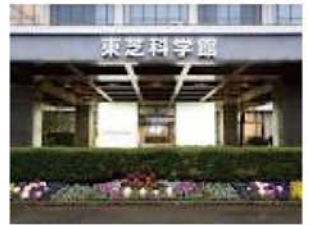
大阪在住の頃は浪速工業会総会に参加したこともありませんでしたが、同級生もおりましたので緊張することはありませんでした。面識者がいないというのはやはり不安なもの。久々に緊張「こんな緊張はお見合い以来だな・・・」なんて思いながら会場へ(ちなみにお見合いはうまくいかず、いまだ独身ではありますが・・・)

当日遅刻もしてしまい、いそいそ、ここそこと会場に到着。参加してみると意外な心境に。都工の現在の取組などを聞くと学生のときのことを思い出して、当時の先生方・校舎・都工祭ってどうなってるのかな?など懐かしく、また楽しく思える機会になりました。懇親会の立食パーティでは、先輩の方々と懇談させていたいただきましたが、私以外に初参加の方もおられ、また私より若い方も参加しており、皆様の元気に楽しい時間を過ごしました。フェイスブックという現代のコミュニケーションツールで得た機会ではありましたが、先輩方の経験談が大変楽しく、また頼もしく感じました。出身校はあんな種故郷と思えます。今後の先輩達のためにも、このような機会を残せるよう今後も参加していきたいと思っています。

見学会のご案内

行事担当より

東芝科学館  
2012.7.28



見学会

今年には川崎市にある「東芝科学館」の見学を企画しました。江戸のテクノロジータウン中重久作「万年時計」、「からくり時計」などの展示があり東芝の歴史が見学できます。見学会終了後に川崎界隈での懇親会を開催します。皆様お誘い合せのうえ奮ってご参加下さい。

開催日 平成24年7月28日(土) 14時  
日程 東芝科学館を見学、見学会終了後に懇親会を開催

費用 交通費・懇親会実費

集合場所 JR川崎駅改札口・時計台付近

申込締切 平成24年7月14日(土)

申込方法 行事担当 田中浩(E35)まで

又はEメールにてお申込み下さい。

TEL・FAX 045-580-4997

Eメール hakanat-6140@nifty.com

一泊懇親旅行会のご案内



行事担当より

毎年恒例の一泊懇親会ですが、本年は11月に日光川治温泉で開催いたします。皆様御誘い合わせの上ご参加下さい。

2012.11.10~11



一泊懇親会

開催日 平成24年11月10日(土) から11日(日)の一泊二日

会場 日光川治温泉一柳閣本館に宿泊し、翌日希望により鬼怒川周辺、東武ワールドスクエアなどを見学予定。

費用 一万円程度(交通費各自負担)

詳細 参加申込者に別途詳細スケジュールをご案内します。

申込締切 平成24年10月10日(水)

申込方法 行事担当 田中浩(E35)まで

又はEメールにてお申込み下さい。

TEL・FAX 045-580-4997

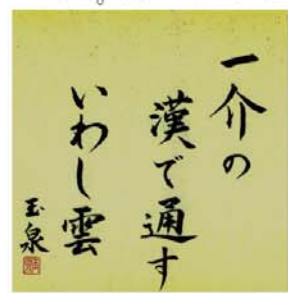
Eメール hakanat-6140@nifty.com

一隅を照らす俳句



M18 小川 玉泉

2歳の時に両親をなくし、伯母に育てられたお蔭で今日がある。貧しい中で就職するまでは写真とは縁がなかった。写真は昭和18年12月、大阪市立都島工業学校の卒業アルバムのもの。俳句との出会いは会社の先輩に「馬酔木」の会員がおられ、勧められて入会。その後「馬酔木」への投句とともに、「南風」に入会。直接、山口草堂師の教えを受けられたことが大きな財産となった。昭和35年から60年まで仕事の関係で句作は出張の道中のみとなった。定年を期に俳句への復活をと考



えているとき、「末黒野」の中野陽路氏が学校の先輩と判り入会した。高齢化の中で人生の一隅を照らす俳句を、日本の四季の美しさとともに、多く詠い続けたいと願っている。(2012年3月「俳壇」誌から)



昭和18年12月 都工卒業時の小川氏

桂米左独演会のお知らせ

事務局より

桂米左 独演会



2012年10月28日 浅草見番

上方落語会で活躍中の桂米左(A59)木村佳氏 恒例の東京独演会の日程について連絡が入りました。ご興味のある方は、事務局までお問い合わせください。お問い合わせをいただいた方には決定後に詳細案内をさせていただきます。

開催日 平成24年10月28日(日) 14時開演

開催場所 浅草見番(台東区浅草3-33-15)

費用 前売2500円・当日3000円

お問い合わせは 事務局・馬江まで 科、

卒年、氏名、参加予定人数を電話、FAX

又はEメールにてお問い合わせ下さい。

TEL・FAX 045-841-8885

Eメール nanium@c3-net.ne.jp

春のゴルフコンペ報告

E36 竹村 繁幸

桜も散った4月26日、紫CCあやめコースで開催し、予報では雨でしたが、我々の熱意に押されてか傘の必要もなく楽しくラウンドできました。佐々木さん(E25)、松本進さん(E47)が初参加していただき、10名のコンペ(新ペリア式)となりました。優勝は現役の松本進さんGR99(HC24)、NET75、BGは笹治さんの(E36)97でした。おめでとうございました。

秋のコンペは10月25日の予定ですので、皆さんのご参加をお待ちしています。



春のゴルフコンペ 紫CCあやめコース



青賞

関東青葦会催しへのお誘い

A57 信原 利行

関東青葦会の本年の催しは『陶芸会』と『ホキ美術館見学』の二本立て企画しました。陶芸会は例年通り陶芸家A46卒 柚木 寿雄氏の工房にて開催します。両企画とも他科の皆さんの参加も大歓迎です。奮ってご参加下さい。

①『陶芸会』  
開催日時 9月15日(土) 13時より17時30分  
終了後、国立駅周辺にて懇親会開催  
開催場所 国立市『国立自遊工房』  
会 費 7,000円(懇親会費含む)



昨年の陶芸会参加者の作品



昨年の陶芸会での制作風景



②『ホキ美術館』

日本建築家協会2011年度「日本建築大賞」受賞、30mのキャンチレバー!

開催日時 10月13日(土) 13時より19時00分  
内 容 J R外房線土気駅で集合し、日本初の写真絵画専門美術館を見学し懇親会は土気駅周辺で開催  
終了後現地解散。  
会 費 交通費、入館料(1500円)、懇親会費各自負担

★申込方法 ①・②共通  
申込締切 8月31日(金)  
申込方法 催し名・卒科・年・氏名をFAX  
又はEメールにてA37森 芳信まで

FAX 04-7184-8413  
Eメール 3tree-yoshi@com.home.ne.jp  
(集居場所等詳細は申し込み後(案内します))



ホキ美術館 外観

HOKI MUSEUM  
2012.10.13

奮ってご参加下さい!



写真絵画専門美術館 内部

訃報

E16年卒	松本 良夫氏	平成24年3月7日
M17年卒	八木 英三氏	平成23年9月19日
M18年卒	片井 振武氏	平成23年12月15日
C18年9月卒	太田 清氏	平成24年2月18日
工専C24年卒	淀 芳蔵氏	平成22年9月4日
E29年卒	三友 宏章氏	平成23年1月20日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号の  
Mニュースは平成25年1月  
発行予定です。

皆様の  
原稿をお待ちしています!

メールアドレスのご提供を  
事務局より

Mニュースと事務局よりの種々のお知らせのタイムリーな配信と配送事務及び配送費用低減のためEメールの活用を更に拡充させたいと考えています。PCのメールアドレス(携帯は不可)をお持ちの方、是非事務局までお知らせ下さい。ご協力よろしくお願い致します。

事務局メールアドレス

naniun@c3-net.ne.jp



浪速工業会費納入の御願い

事務局より

過日お手許に届いていません浪速工業会報に同封されてしまった「振込用紙」にて平成24年度会費3000円の納入よろしく御願致します。関東支部の皆様が3000円納入して頂きますと、内1000円が関東支部の活動費として還元されます。ご協力よろしく御願致します。